

# あわら 市議会だより



12月定例会報告	2p
議会報告会	3p
委員会報告	6p
一般質問	10p
請願	14p
議案と結果	15p
議会日誌・まちかどウォッチング	16p

**No. 35**

平成25年1月16日 発行

よい年になりますように(金津神社にて)

# 議会報告会

10月に開催した議会報告会では、市民の皆様にご多くの貴重なご意見をいただきました。その時にいただいた質問・要望について、市に対して回答を求めましたので、その結果を掲載します。

●災害時の学校の使用の方はどうなのか。また、万が一の時の指揮命令等の経路が分からないがどうなっているのか。

### ■総務課所管



議会報告会(波松区民館10月26日)

《回答》災害時はまず各地区、各自自主防災組織で避難、対応となります。更に大規模な災害の場合に、学校等の拠点施設へ避難となるので、その時は市職員が対応します。なお、指揮命令経路

### 《回答》県のシミュレーション

●津波について、県の発表では波松と吉崎のみの被害で済むようだが、7〜8mの津波も予想される。避難場所はどうか考えているのか。

シミュレーションでは、あわら市内で津波による被害が予想されるのは浜坂、吉崎地区の一部で、人家がある場所での浸水深(水にかかる深さ)は2m未満が予想されています。波松地区については、

### 《回答》乗合タクシーは

●乗合タクシーの運用について、特に病院の行き帰りに関してはどうか。また、1時間前の予約では緊急時に役立たない。改善してほしい。

《回答》乗合タクシーはあくまでも地域公共交通です。地域公共交通として改善すべきことは改善してまいります。病院の帰りについては予約時間の

### ■市民生活課所管

●乗合タクシーの運用について、特に病院の行き帰りに関してはどうか。また、1時間前の予約では緊急時に役立たない。改善してほしい。



乗合タクシー

●坂井北部丘陵地帯に墓を建てているところが幾つかある。違法ではないのか。《回答》昭和23年6月1日施行の「墓地、埋葬等に関する法律」により、施行日以降は県の許可を受けた墓地以外の場所に墓(墳墓)を建てることはできません。

## 12月定例会

### 平成24年度一般会計補正予算(第7号) 686万3千円を増額!

議会報告会(浜坂区民館10月30日)



- 平成23年度各会計の決算を認定
- 一般会計予算総額は140億6,586万9千円に
- 債権の管理に関する条例 可決
- 人権擁護委員 川瀬 範雄 氏の推薦に同意

平成24年12月定例会が12月4日から20日までの会期で開催されました。今定例会では、9月定例会で決算審査特別委員会に付託された平成23年度の各会計決算の認定に関する11議案を認定しました。そして、専決処分の報告に関する1議案、専決処分の承認を求める1議案、平成24年度補正予算に関する7議案、条例の制定・改正に関する2議案、規約の変更に関する1議案、人事に関する2議案、契約の締結に関する4議案、財産の取得に関する1議案の計19議案が上程され、すべて原案のとおり可決しました。

なお、今回は8名の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をただしました。その他、請願1件を不採択とし、議員発議により「市長の専決処分事項の指定について」を可決しました。

### 新年のごあいさつ

議長 向山 信博

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新しい年の初めを家族の皆様共々、お健やかに迎えられたことと、お慶び申し上げます。

昨年12月の衆議院議員総選挙で再び自民党と公明党の連立政権が誕生いたしました。過去の反省を踏まえ、真摯に国民の負託に応えていただき、安定政権を目指していただきたいと思います。

あわら市におきましても、厳しい財政状況の中、合併特例債を活用し、いくつかの大型事業を行い、順調にまちづくりを進めているところであります。議会としましても、議論を重ね、しっかりと精査しながら皆様の負託に応えるよう努力してまいりますので、皆様のご理解、ご協力をお願いいたしまして、新年のご挨拶といたします。



また、農地を農地以外の用地に転用するには許可が必要です。無断で転用した場合は農地法第4条もしくは第5条に抵触することになります。基本的には農業委員会として是正するよう指導します。

■農林水産課所管  
●農免道路(フルーッライン)の管理はどうなっているのか。  
《回答》大規模な補修については、国・県の補助を得ながら実施しています。法面につきましては、



議会報告会(北潟公民館10月26日)

来年度より調査を行い順次補修していく予定となっております。これに併行して雑木の伐採を行いま

■観光商工課所管

●ここ数年、あわら市は観光客誘致などの事業を精力的に行っているが、その費用対効果はどうか。  
《回答》現在、観光振興の旗振り役として観光協会が、旅館協同組合などの関係団体とともに誘客を推進しています。北陸全体の観光客入込が落ち込んでいる現状ですが、今年度は対前年度比プラスを維持しています。今後も平成27年3月の北陸新幹線金沢開業を見据え、観光客誘致を推進していきます。

●観光まちなみ魅力アップ事業について、3年間行うとあるが、今後のビジョンが見えてこない。その後どのように考えているのか。  
《回答》本事業は、北陸新幹線金沢開業を見据えて、観光地としての魅力を高めることを目的としたソフト事業で、市では、「あふれんばかりの花が彩るまちづくり」に取り組むことにしています。



フラワーウォールのイメージ

ター、フラワーウォール等を配し、観光客の目的となるよう、「花によるにぎわい」を創出しようとするものです。今後は、地域が中心となった花の植栽や管理に向け、市民の皆さまのご理解とご協力をいただけるよう、3年間をかけた気運の高まりを図ってまいります。

■建設課所管

●市道千束・赤尾線の工事の進捗状況はどうなっているのか。  
《回答》現在、年度内の用地取得を目標に地元説明を進めています。工事は、来年度以降の予定です。

■文化学習課所管  
●新郷小学校には学童保育がないので、本荘小学校へ行きたい。  
《回答》新郷子どもクラブは、平成22年度に新規開設しましたが、当該年度には利用者が1名となったため、23・24年度は休止しています。なお、25年度については、開設する方向で現在検討中です。

●(仮称)生涯学習館の駐車場について、施設の前だけでは少ないのではないかと。県道の反対側では危険である。また、完成後は現在の図書館の利便はどうなるのか。  
《回答》(仮称)生涯学習館は金津神社の敷地に隣接しており、施設側の駐車場用地の確保は難しいことから、シヨック

ピングセンター当時と同様に県道を挟んだ西側に駐車場を設置する予定です。



(仮称)生涯学習館外観イメージ

次に、要望として市へ伝えた項目を掲載します

■坂井市とあわら市で行政サービスを連携してほしい。

■例えば、ごみ袋等は同じでよいのではないかと。また、補助金等(農業関係)の違いもあるので、できるものはすり合せをしてほしい。

■職員数は足りているのか。職員の採用は地元を優先してほしい。人事異動を頻繁にせず、じっくりと落ち着いて仕事ができるようにしてほしい。

■ケーブルテレビのお悔やみや出生のお知らせには、文字だけでなく音声も入れてほしい。また、出生は行政区で表示されているが、お

悔やみは住所となっている。行政区に統一してほしい。  
■JR芦原温泉駅前の自転車が乱雑に並んでいる場所は、駐輪場なのか。駐輪場ならば、屋根をつけるべきである。

■廃プラスチックの分別収集が分かりにくいので、詳細に説明してほしい。

■なお、収集に関する手続きも周知徹底されていない。また、廃プラスチックはかさばるので毎週収集してほしい。

■障害者団体の会員が減っている。補助金を継続してほしい。また、障害者の雇用を促進してほしい。

■健康長寿祭を改革してほしい。



金網固定柵

■県道のことについて、最近通行車両が大型化している。県道ではあるけれども生活道路でもあるので、安全で汚れない道路にしてほしい。

■イノシシについて、依然として被害が出ている。柵の内面より外へ出るような跡もみられるので、固定柵を強化してほしい。

■風力発電に関して、多少の賑わいは有るが、駐車場の問題や行き止まりの道等で、路上駐車もあり、農作業にも支障をきたしている。将来を見据えて整備を願いたい。



豪雨時の道路冠水

■国道8号バイパスを早く建設してほしい。

# 総務文教常任委員会報告

平成24年度  
一般会計補正予算

## ■総務課

**防犯灯設置補助金  
43万7千円増額**

委員区からの申請の度に毎回補正予算が計上されているが、故障等緊急の場合はどうするのか。理事者予算がない場合でも緊急時は予備費で対応したい。  
また、大幅な新增設については予算化で対応したい。

**防災資機材庫購入費  
600万円**

委員整備の詳しい内容は。理事者今まで未整備だった金津地区拠点避難所12ヶ所へ、資機材倉庫を設置する。



芦原地区の防災資機材庫

## ■教育総務課

**施設修繕料23万円**

委員 本荘小学校音楽室の窓が老朽化により落下する危険な状況にあるため、取り替えるための費用であるが、耐震補強工事をした時に気が付くべ

き事であり、他の学校で同じようなことがないよう強く要望する。

委員 資機材の定期的な点検の実施、防災組織の未組織地区の早期立ち上げを推進してほしい。

## ■文化学習課

**JA倉庫耐震診断  
委託料130万円**

委員 本荘公民館に隣接するJA倉庫を、公民館施設として活用できないかを判断するための調査費である。古い建物であり、耐震診断委託料が無駄になるのではないか。



本荘公民館に隣接するJA倉庫

理事者 診断しないことには、耐震補強費の算定もできない。診断結果

によつては、委託料が無駄になつても、耐震補強費に多くのお金を掛けるよりも良いとの判断で実施する。場合によっては撤去も視野に入れている。

## 工事請負変更契約の締結について

委員(仮称)あわら市生涯学習館整備工事中に、一階土間コンクリート下に空隙が見つかったための土間改修工事と、授乳室、幼児用トイレ増設として1千869万円を増額する変更契約である。地盤沈下の恐れがあるため、地盤改良をすることだが、どうしても必要なの。

理事者 地盤の現状は、自然沈下により一部締め固まってはいるが、土間からの荷重を均一に下の

## 行政視察

去る10月9日、大阪府茨木市の防災対策について、翌10日には、大阪府大阪狭山市の二学期制について、行政視察研修を実施しました。  
茨木市の自主防災組織については、32小学校のうち、27区で結成されており、組織率84%



茨木市 災害用トイレ

弱い地面に伝えるため、地盤改良が必要である。二学期制は中学校よりもむしろ小学校の方が適していると感じました。当市では中学校において二学期制が試行されていますが、今後、保護者や教育現場の声を十分に聞いたうえで県内の他市町の動向を見ながら決めていく必要があると考えます。

大阪狭山市の二学期制を導入した成果は、授業時数を確保できたこと、ゆとりを持った指導で基礎基本が定着した事等があげられます。また、教育課程の全体編成を見直すことができ、教職員意識改革が進んだとのことでした。

# 厚生経済常任委員会報告

平成24年度  
一般会計補正予算

## ■農林水産課

**浜坂漁港浚渫工事費  
200万円**

委員 200万円浚渫工事が出来るのか。理事者 大聖寺土木事務所が発注する業者とあわら市が随意契約することにより、大聖寺川で利用している台船を利用することができ、低額の予算で実施できる。

**坂井丘陵企業的  
園芸拡大事業  
617万8千円追加**

委員 坂井北部丘陵地に進出している企業だが、経営が厳しいと聞いており、撤退の恐れはないのか。理事者 企業は遊休農地の解消、雇用の創出に寄

## ■子育て支援課

**すみずみ子育て  
サポート事業  
45万円 追加**

委員 当初予算6万3千円に対し、7倍を超える補正を行う理由は。理事者 昨年までは、NPO法人に委託していたが、本年7月からシルバー人材センターに委託した。保護者に対し要望調査を行い、要望に応える形で、平日午後8時まで延長させた保育や、土日・祝日の保育も可能にしたためである。

## ■観光工商課

**観光まちなみ  
魅力アップ事業  
(計画策定事業)  
150万円**

委員 あわら温泉の活性化を図るために7億5千万円の巨費を投じる。どのような温泉街にするのか、また、街歩きをさせるための仕掛けなど、行政が強く関係者へ指導すべきである。



事業を予定している市道

理事者 今回の事業は、あわら温泉街への最大であつて最後の支援であると思つている。計画策定メンバーには整備以後の

## あわら市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正

ごみの分別収集を推進するため、ごみ専用指定収集袋の種類を増やすものである。  
委員 新たに容量の小さなごみ袋を作成するが、単価はどのように決定したのか。



ごみ専用指定収集袋

理事者 概ね坂井市と合わせた単価とした。なお、資源ごみ、廃プラスチック

自分たちの役割を果たしてほしいと、確認をしながら事業を進めたい。

## 行政視察

去る10月9日、滋賀県栗東市の「地域ふれあい敬老事業」について、翌10日には、兵庫県三木市の「空き家対策」について、行政視察研修を実施しました。  
栗東市は70歳以上の対象者1人当たり千円を自治会に交付し、自治会は独自の方法で敬老会を開催しています。  
自治会単位で実施することで、参加率が30%程度から、45%前後に大幅に伸びたとのこと。なお、最近では地域コミュニティの低下がみられることから、この事業を

通じて地域のつながりを強化してもらつことも狙いとのこと。地域性があり、当市と同じにすることはできませんが、将来的には理想的な方法だと感じました。  
三木市は、所有者等に適正な管理を求める目的で、「空き家等の適正管理に関する条例」を施行しています。  
空き家対策は、所有者が不明、所有者の金銭問題、個人情報保護法による調査困難など、問題が山積しており、一朝一夕に解決するものではないとのこと。  
まず行うことは、条例を周知させることによつて、所有者等の管理意識を高めたいとのこと。全くその通りだと感じました。

# 決算審査特別委員会 報告

## ■政策課

### 市町振興プロジェクト

計画段階で政策課と担当課が綿密な打ち合わせを行い、スムーズに事業を遂行し、事業終了後の効果についての検証も実施するよう求めました。

## ■税務課

### 固定資産の課税

都市計画区域内の田畑について、埋立っている場合など、法律に基づいた、適正な課税を要望しました。

## ■収納推進課

### 市税の現年度分の収納率

平成23年度では、97.96%と過去最高の収納率となっております。平成20年に収納推進課を設置し、徴収及び滞納処分を強化してきた成果であり、引き続き徹底した徴収、滞納処分を要望しました。

## ■健康長寿課

### 健康づくりサポーター事業

成果として、サポーターの方が検診を呼びかけ、検診受診率が上がったとこのことであります。この事業の積み重ねにより結果的には、医療費の抑制につながるため、全地区に拡大しての実施を要望しました。



芦原温泉駅東口駐車場

## ■観光商工課

### 古屋石塚テクノパーク

未売却の土地について、売却できるように、積極的に営業に回り、更なる努力を求めました。



古屋石塚テクノパーク

## ■建設課

### 都市公園管理委託

高額な管理費で業者に委託している公園の維持管理について、できるだけ地元と管理委託契約を結び、地域や地元の人に協力して管理してもらえよう要望しました。

## ■文化学習課

### 公民館の予算

最後に、決算審査の資料である各会計主要施策の成果報告について、事業の結果報告だけでなく、事業を評価するものではないかと。よって、理事者側では既に行政評価を実施しているため、その行政評価の結果について、資料に反映させるよう要望しました。理事者からは、事務事業評価政策評価を含めた中で、議会に資料として提出するとの答弁がありましたので、次年度以降の資料として大いに期待します。

## ■教育総務課

### 小学校の統廃合

小学校3校で複式学級となっております。教育環境を考慮し、小学校統廃合について早急に検討委員会を立ち上げ、統合の是非を含めて検討するよう要望しました。

## 中心市街地活性化調査特別委員会

11月19、20日行政視察を行いました。19日は富山市でライトレール・トレイン、いわゆる鉄軌道をはじめとして公共交通を活性化させ、人口減少・高齢化が進みドーナツ化現象になりつつある中心部に人を集める作戦をとりました。

平成27年3月の新幹線開業に伴い、駅周辺部の区画整理をしてからは、地権者とのまちづくりの話し合いが一番難しくかつたそうです。

平成19年度から5ヶ年計画で27事業を展開しています。補助事業は、まちの統一感を出すために店舗外装・商業ビルの改修、市民向け戸建て、共同住宅の購入、借り入れに対する助成、新規出店サポート事業他、さまざまな補助制度を行ってまいりました。

20日、長野県飯山市役所において「新幹線に向けた街づくり」について研修を行いました。



建設中の北陸新幹線(飯山市)

## 環境対策調査特別委員会

11月21日は香川県「直島環境センター」について、22日には坂出市のメガソーラ「坂出ソーラーウエイ」について、視察研修しました。

環境センターは、豊島(てしま)に投資された60万トンの産業廃棄物を中間処理する施設で、大気汚染法よりも厳しい基準で徹底した排ガスの処理などを行っています。産廃を高温で燃焼させ、「スラグ(砂)」「飛灰」「アルミ」「銅」「鉄」に分解します。



坂出ソーラーウエイ(太陽光パネル)

豊島の産廃を直島で処理するようになった理由として、直島町には元々「三菱マテリアル直島製錬所」があり、住民の反対がほとんどなかったことが挙げられるそうです。

次に「坂出ソーラーウエイ」は、瀬戸内海に面した塩田跡地を活用し、敷地面積約3万3千㎡、パネル数1万3千320枚で、最大出力約2千kwに相当する規模のメガソーラ発電所です。メガソーラの利点は、事業計画から発電所の運転開始まで非常に短期間で実施できるということです。事業に取り組むなら、早ければ早い方が良いとのことでありました。

## 議会運営委員会

11月15日、16日において、「議会改革」について奈良県天理市及び京都府木津川市を行政視察しました。

まず、天理市議会は、議会改革推進委員会を立ち上げ、それぞれの課題について協議や検討をしながら決定をしました。その主なものとしては、

政治調査費等の公開、議会活動の評価を速やかに実施したり、正副議長の「立候補者」は議会全体協議会でマニフェスト所信表明を行ったり、議長交際費の支出基準を作成し、平成25年度からホームページに掲載することなどを実施してまいりました。議会報告会も住民の意見を聞くことに重きを置く形へと変わってきて

この研修を通して参考にすべきところは参考にし、さらに議会改革を推進していく必要性を強く感じました。



木津川市議会

# 市政について問う

12月の定例会では、8名の議員が一般質問が行いました。ここでは、その質問と答弁の要旨を掲載します。(通告順)

## ■山田 重喜 議員

- 森林保全に向けての施策について
- 空き家対策について

## ■山川 知一郎 議員

- 市の職員人事について
- 産業廃棄物の不法投棄対策について

## ■卯目 ひろみ 議員

- 北潟湖畔公園の利活用について

## ■坪田 正武 議員

- 芦原温泉駅前及びあわら温泉街の電線の地中埋設について
- 北陸新幹線認可に伴う駅周辺の街づくりについて

## ■吉田 太一 議員

- 二学期制について
- 小学校の統廃合について
- 中高一貫教育について

## ■牧田 孝男 議員

- ふるさと創造プロジェクトで、通り名を復活させるべきではないか

## ■八木 秀雄 議員

- 無職少年の心の居場所づくりと青少年の立ち直り支援について

## ■森 之嗣 議員

- 住みよさランキングの結果とまちづくりについて



### 一学期制について

**吉田** 中学校は平成22年4月から二学期制を試行導入しているが、約3年間の成果と改善点は。いつまで試行期間を続けるのか。小学校も二学期制を導入すべきと思うが教育委員会の考えは。

### 小学校の統廃合について

**吉田** 複式学級について、どのように考えているのか。地域の父兄から統廃合の意見等が出ているが、教育委員会の考えは。

また、統廃合を考慮する検討委員会を立ち上げる時期に来たと思うが、教育委員会の考えは。

入については、中学校の状況を見ながら、各小学校の意向を踏まえ、導入の有無について判断したいと考えています。

### 中高一貫教育について

**吉田** 中高一貫教育を受けている生徒数と金津高校への進学率は。また、小中一貫教育に対する考え方は。

### 教育長 生徒数は

38人で進学率は100%です。

小中一貫教育ですが、現在市が行っています小中連携教育が有効に機能していると考えており、小中一貫教育までは考えていません。

### 教育長 複式学級

は、1学級を2学年以上で構成する事から個人差・学年差が生じ易くなるなど先生児童ともに負担が大きくなります。

しかし、一部の保護者から統廃合の要望があり

### 教育長 授業時間

数の増加により、これまで以上にきめ細やかな指導ができるようになりました。試行期間については両中学校との協議・検証を深め、今後の方向性を明らかにして行きたいと考えています。

小学校の二学期制導



### ふるさと創造プロジェクトで、通り名を復活させるべきではないか

**牧田** ふるさと創造プロジェクトで十日市、八日市など当時の賑わい市を復活させてはどうか。

また、当時の町名を活かした通りの再現を考えるべきではないか。

的とするものです。

あわら市では、北陸新幹線の敦賀延伸と平成26年度末の金沢開業を見据えたまちづくりを推進するため、本年度から3力年でJR芦原温泉駅前から(仮称)生涯学習館までの区間で、市街地のにぎわいづくりを目的とした整備を行うことで事業採択を受けました。

9月には、基本計画策定委員会を立ち上げ、これまでに3回のワークショップと一回の先進地視察研修を実施しており、今年度中に計画をまとめる予定となっています。

これまでのワークショップでは、地域資源を活用したにぎわい再生の方策として、本陣飾り物や狂言「金津地蔵」の活用な

ど活発な議論がなされています。加えて、かつて開催されていた八日市や十日市の復活についても論議されており、この実現に向けた検討も進めてもらっています。

さらに、議員ご提案の旧町名を活かした通りの再現というアイデアについては、「宿場町らしさを活かした通りの整備をすべき」という意見も出ていますので、これらに含めた形で引き続き検討してもらいたいと考えています。



### 青少年の立ち直り支援を実施すべき

**八木** 義務教育を終えた少年や高校を中途退学した少年がおり、その少年が、働くまでの過程で悩んだり、つまずいたり、人との接し方など色々問題を抱え悩んでいる。それらの問題を解決できる相談窓口、居場所、自立支援所等はあるのか。

また、新たなサポートシステムを構築すべきではないか。

愛護センター等であわら警察署や民生委員・児童委員などとの連携・情報交換により、非行少年の早期発見と生活指導及びその継続指導を行っているところです。

また、相談事業につきましても、市少年愛護センターにおいて少年に関する相談を受けているほか、あわら警察署においても、非行少年の立ち直り、不登校児童等の居場所づくり支援活動及び相談事業を行っているという聞いています。

なお、今後は関係機関と連携を図りながら市としての対応を検討したいと考えています。

### 市長 この問題は、

学校を卒業してしまうとその世代を担当する所管がないのが現状です。しかし、大切な分野であると認識しています。できれば、県において、なんらかのシステムを作っていたければ自治体を取り組みやすくなるので、市として検討したうえで、県に要望したいと思っています。

### 経済産業部長 この

プロジェクトは福井県が創設した補助事業で、各市町がふるさとづくりを行うため、歴史や文化などの地域資源を積極的に活用し、全国に発信していくことを目

これまでのワークショップでは、地域資源を活用したにぎわい再生の方策として、本陣飾り物や狂言「金津地蔵」の活用な



十日の信号機看板

### 教育長

相談窓口等について、あわら市には専門的な公的機関はありませんが、市少年

### 市民福祉部長

福井県社会福祉センターに若者サポートステーションがあり、就労支援の活動を専門の職員が行っています。

不登校、引きこもり、

※ニートとは教育、労働、職業訓練のいずれにも参加していない状態を指した造語



### 住みよさランキングの結果を踏まえ たまちづくりは

**森** 東洋経済新報社が全国の788都市を対象に公表している「住みよさランキング」だが、隣の坂井市は全国3位であるのに対し、あわら市は429位である。この結果を踏まえたまちづくりに今後どのように取り組んでいくのか。

**市長** 「住みよさランキング」は、14の極めて限られた指標で算出されるものです。さらに、各指標には都市の条件による補正措置が講じられており、福井市の

ベッドタウンとしての側面を持つ坂井市などは、前々回からのランク付けにおいて各指標に上位補正が行われるようになりました。参考ですが、補正措置導入前の2008年のランクを見ると、あわら市が446位で、坂井市が413位と、そう違いはありません。「住みよさランキング」の各指標や算出方法などを検証する中で、これは、都市の状況のある視点から見ると、目印にすぎないのではないかと考えます。本来「住みよさ」というものは、数字で表せない基準や住む人の心情などによって、その人が感じるものであり、決して誰かに測ってもらうものではないと思います。

ただ、あわら市の住みよさというものが、このようなランク付けで公表されているわけですが、

HEECEとは、「健康」のHealth、「教育」のEducation、「環境」のEnvironment、「コミュニティー」のCommunity、「経済産業」のEconomyからそれぞれの頭文字をとったあわら市オリジナルのこ



### 林業団体に運営補助を行えないのか

**山田** 林業団体は、国の指導により、公益法人から一般法人への切り替えが余儀なくされ、経営が厳しい状況である。このような団体へ運営補助を実施する考えはないのか。

**経済産業部長** 林業団体に対する運営補助については、森林組合作業員に対して、退職金共済掛金の補助は行っていますが、団体の運営補助は行っていません。しかし、林業団体所有林の一部を県が費用負担し管理を行っているほ

### 空き家対策を 実施すべきでは

**山田** 空き家は、倒壊や外壁の落下、火災といった防災上の問題だけでなく、犯罪の誘発、景観の悪化など多くの問題を引き起こす。市として、生



空き家

か、間伐等においても森林組合に作業を委託する中で国・県・市が補助しています。また、市としては、先般、東京都港区と協定を交わした「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」等を活用し、本市産材の有効活用を積極的に進め、今後とも林業団体の収益向上に努めたいと考えています。

### 総務部長

空き家等の活環境の保全と、市民の安全・安心な生活の確保として、空き家等の適正管理に関する条例を制定すべきではないか。



### 通年雇用の臨時職員を正職員にする とともに専門職の配置を

**山川知** 合併後、正職員が大幅に削減されているが、市民サービスの低下や過重負担になっていないか。

臨時職員は、臨時的な業務に従事するものであり、通年雇用の臨時職員は正職員にするとともに、土木部などには専門職を配置すべきではないか。

**総務部長** 本年4月現在、正職員265人に対して臨時職員168人となっており、その内、

1年以上勤務している臨時職員は118人で、最長勤務者は34年となっています。

職員数の削減により、若干、過重負担となっているところもあります。が、市民へのサービス低下はないと考えています。今後とも、適正な任用と人事配置に努めるとともに、建築の専門職採用については検討したいと考えています。

### ごみの不法投棄 防止対策の強化を

**山川知** 昨年、担当課に通報したごみの不法投棄は、本年5月末までにすべて撤去するとのことであったが、未だに撤去されていない。不法投棄した業者に対



不法投棄現場の一例

して、どのような指導を行っているのか。

**市民福祉部理事** 県は不法投棄した業者に対して勧告を行い、業者からは、改善報告書及び改善計画書が提出されていますが、その通り実施されていません。県と市が連携して、改善計画書の内容が適正に実施されるよう、今後も指導・監視を続けて行きます。



### 北潟湖畔公園の 活用について

**卯目** 高台にある四季の森公園はあまり活用されていない印象である。開園後10年以上経つた今、整備する考えはないか。

管理棟のトイレを時間外も使用できない公園のゾーン化を図り、赤尾区側のゾーンに常設のグラウンドゴルフ場など、スポーツ広場として整備する考えはないか。最後に、公園の維持管理を市民に参加を呼びかけ、自然を楽しみながら整備のお手伝いを

してもらう方法はないか。

**土木部長** サイクリングパークは「動」、四季の森は「静」を基本テーマとしているが、今後、季節を感じる草花の整備なども積極的に進めたいと考えています。管理棟のトイレは防犯上の問題から、管理棟の時間外は施錠せざるを得ません。県の施設なので、今後協議するともに近くのトイレへ誘導できるように見直します。

また、四季の森の一般トイレとエコトイレが近いとため、エコトイレの利用が非常に少ない状況で、維持管理経費も考え、エコトイレは廃止の方で検討したいと考えています。



高台にある四季の森

スポーツ公園を整備する件については、グラウンドゴルフ、スナックゴルフ、ターゲットパードゴルフなど多目的での利用を可能としたいと思っています。よって、現在のままの芝生広場として多くの人に様々なスポーツを楽しんでもらいたいと考えています。公園の維持管理方法については、これからぜひ考えていきたいと思

平成24年12月 第63回あわらし議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

Table with columns for council members (杉田剛, 東川継央, etc.) and rows for various council resolutions (平成23年度一般会計歳入歳出決算の認定について, etc.).



坪田 正武 議員

電線の地中埋設 計画はないのか

坪田 芦原温泉駅前及び温泉街の景観のために、電線の地中埋設計画はないのか。

また、街の景観づくりのために、カラー舗装や石畳の歩道を設置する計画はないのか。

土木部理事

JR 芦原温泉駅周辺地区において現在事業を進めております西口アクセス道路と県道芦原温泉停車場線の一部で無電柱化を計画しています。今後、電気事業者や県と実施時期や方式等について協議

調整していきます。また、景観を考慮した歩道のカラー舗装や石畳については、無電柱化と同じ区域を対象に、実施したいと考えています。

看板であわらしをPRしてはどうか

坪田 芦原温泉駅構内

新幹線早期着工の看板及び、新幹線芦原温泉駅の位置を描いた大型の看板を駅周辺に設置できないか。

また、市の各入口に「あわらし」の看板を設置できないか。

土木部理事

周辺における看板設置について、駅の西口及び東口付近への設置は、新幹線本体の工事や西口広場の整備により数年先には支障とな



新幹線PR看板

この看板には、金沢敦賀間の概要、芦原温泉駅から目的地までの所要時間、市の観光PR写真などを掲載します。

市入口への看板設置については、今後あわらしや福井県を初めて訪れる観光客に対し、有効であると思いますので、検討してまいります。

請願

※地方自治法第99条において、議会は、あわらし市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができます。

生活保護基準の引き下げはしないことなど国に意見書提出を求めらる請願

趣旨

生活保護基準の引き下げは、受給者の「健康で文化的な最低限度の生活」を脅かし、最低賃金や年金、就学援助など各種制度の切り下げにつながります。国民生活の最低保障基準の土台をなす生活保護制度は、国が責任を持って保障すべきである。

提出者 福井県社会保障推進協議会

代表 平澤 孝

結果

不採択

理由

生活保護費は地域によって差があり、最低賃金を上回る地域もある。なお、老齢基礎年金より生活保護費が高く、制度には矛盾点があることから、一概に、現在の生活保護基準が高いか低いか判断できない。よって、請願は不採択とする。

賛成意見

長期不況の中で、生活保護受給者は全国で211万人を超え、あわらしでも増えているが、保護基準の引き下げは最低限度の生活を脅かすもので、認められない。また、高齢の受給者は健康を害しているものが多く、老齢加算を復活すべきである。

最後のセーフティネットとしての生活保護制度は、国が責任を持って行うべきであり、地方自治体の負担を無くし、全額国庫負担によって行うべきである。

議会日誌

おもな会議のみ掲載

- 9月26日 決算審査特別委員会  
(以下10月1日、5日、12日、15日、19日、24日開催)
- 10月2日 議会活性化特別委員会  
(以下11月3日、12月21日開催)
- 10日 総務文教常任委員会  
厚生経済常任委員会  
行政視察(11日)
- 25日 厚生経済常任委員会  
議会報告会  
行政視察(11日)
- 11月5日 環境対策調査特別委員会  
29日 全員協議会  
(以下10月26日、29日、30日開催)
- 12日 中心市街地活性化調査特別委員会  
14日 総務文教常任委員会協議会  
15日 議会運営委員会行政視察(16日)
- 19日 中心市街地活性化調査  
特別委員会行政視察(20日)
- 21日 環境対策調査特別委員会  
行政視察(22日)
- 26日 総務文教常任委員会協議会  
議会運営委員会  
27日 全員協議会  
30日 全員協議会
- 12月4日 第63回議会定例会 開会
- 5日 総務文教常任委員会  
環境対策調査特別委員会  
10日 第63回議会定例会一般質問  
広報編集特別委員会  
(以下12月21日、25日、1月4日開催)
- 11日 総務文教常任委員会  
12日 総務文教常任委員会  
13日 厚生経済常任委員会  
14日 厚生経済常任委員会  
19日 議会運営委員会  
20日 全員協議会  
第63回議会定例会 閉会

まちかどウォッチング

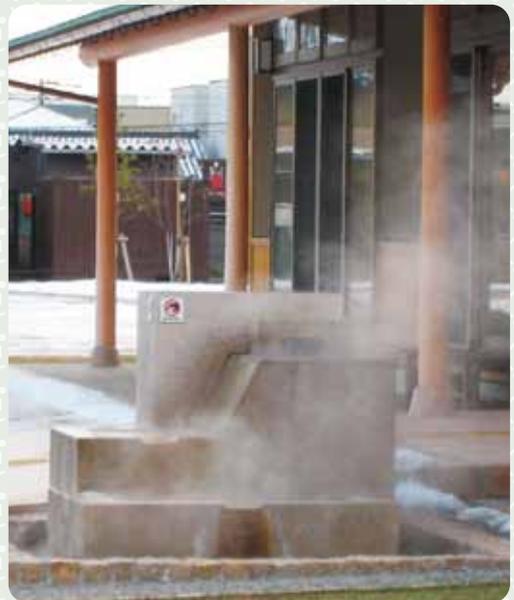
「湯けむりの街」

この季節、外気が冷えてくると、あわら温泉でしか味わえない光景に出くわします。あわら湯のまち広場や表通りからは、温泉の湯気が白く暖かそうに吹き上がります。広場の温泉モニュメントからも<sup>もつもつ</sup>湯気が上がっています。

芦原小学校百年史の中に「明治16年旧暦9月9日、堀江十楽の字一番(俗称念佛田)地籍に<sup>かんがい</sup>灌漑用に穿った掘抜き井戸から温泉が湧きだし、翌17年旧暦3月27日には、中野田15番地の地籍に熱湯を掘り当て、今の薬師堂の前に総湯が建てられて、舟津温泉が形成されていった」とあります。

以来、一日も欠かすことなく、温泉は湧きだし、このまちは今も変わることなく温泉の恵みを受け続けているのです。

(卯目)



編集後記

原子力規制委員会の調査団が、日本原電敦賀原発と東北電力東通原発の敷地内に活断層があるという判断を下した。

原子力規制委員会や政府が、これからのような判断を下すか注視したいが、安全を第一にした判断を期待したい。裁判の原則は、「疑わしきは罰せず」だが、原発に関しては、「疑わしきは稼働せず」であるべきだ。

福井県の担当者も「原発について100%安全ということはありえません」と言っている。稼働している限りは事故の不安がつきまとう。県内のある市の副市長が「地震列島である日本に原発をつくっても大丈夫、という常識は、世界の非常識ですね」と言われたことが、頭から離れない此の頃である。

(山川知)

編集・発行責任者

議長 向山 信博

市議会広報編集特別委員会

委員長 笹原 幸信

副委員長 牧田 孝一

委員 吉田 隆洋

委員 杉本 一郎

委員 山田 正武

委員 坪川 知郎

委員 卯目 ひろみ

発行 あわら市議会 編集 あわら市議会広報編集特別委員会

◆市民に親しまれる、紙面作りを目指しています。ご意見、ご感想をお待ちしております。

〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号 あわら市役所議会事務局  
Tel. 0776-73-8045(直通) E-Mail. gikai@city.awara.lg.jp

